

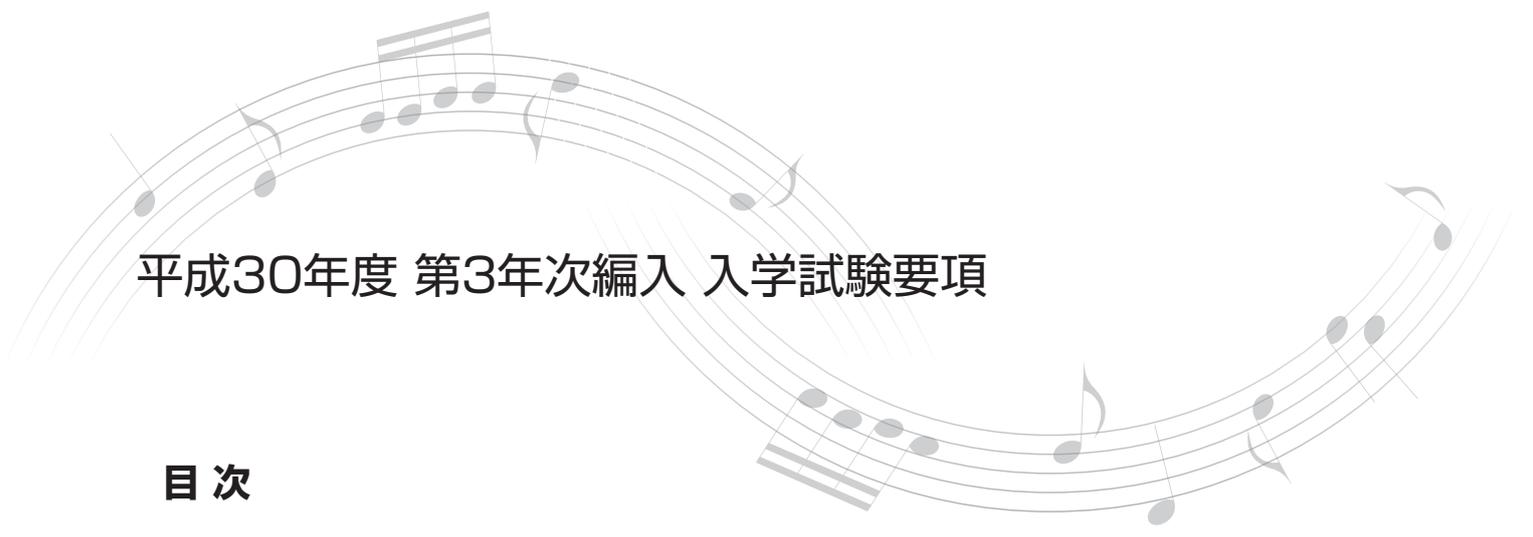
平成30年度 第3年次編入
2018 入学試験要項



since 1904

上野学園大学

音楽学部 音楽学科



平成30年度 第3年次編入 入学試験要項

目次

◆アドミッション・ポリシー

アドミッション・ポリシー	1
--------------	---

◆試験概要

募集人員	2
募集コース	
出願資格	
選考方法	
試験会場	
検定料	
試験日程	3
試験時間表の交付	
出願期間・提出方法	
合格発表日	
入学手続期間	
出願書類	
取得できる資格等	
併願について	

◆入学金 / 学納金 / 奨学金等

入学金・学納金等について	4
入学辞退	
特待生制度	
学生寮	
日本学生支援機構の奨学金	5
各種教育ローン	

◆入学試験科目について

試験科目詳細について	6
課題曲発表時期について	
全コース共通の試験科目について	7
各コース・各専門の試験科目について	8
器楽コース	
声楽コース	
グローバル教養コース	
演奏家コース 各専門の試験科目について	9
専門を変更して受験する場合	10

◆出願書類

入学願書	11
個人調書	13
専門実技曲目記入票	
○器楽コース / 声楽コース / グローバル教養コース(音楽学・音楽教育) 志願者用	15
○演奏家コース(ピアノ / 弦楽器 / 管楽器 / 打楽器 / オルガン・古楽の各専門)志願者用	17
○演奏家コース(声楽専門)志願者用	19
受験票	21

出願書類の提出について

検定料納付後、3ページ記載の提出書類を本学所定の出願用封筒(巻末)を使用し、簡易書留にて郵送してください。

アドミッション・ポリシー「求める学生像と入学者受入れの方針」

上野学園大学の教育基本概念は、建学の精神「自覚」にある。これを基盤として、以下のような学生を求めている。

- ・「自覚」の精神をもって、音楽の演奏・研究に真剣に取り組む人。
- ・学部における学修の基礎となる専門技術とソルフェージュ能力等がある程度備えている人。
- ・グローバルな視野をもって、音楽文化を国の内外に発信していく意欲のある人。
- ・音楽を学ぶことを通じて養う集中力・持続力を多面的に応用できる人。
- ・自らを深く見つめると共に、他人を思いやり、コミュニケーションできる人。
- ・演奏家を目指す人(演奏家コース)。
- ・能動的な学びの中に身を置きたいと希望する人。
- ・中学校・高等学校音楽科教員、社会教育主事の資格取得を目指す人。
- ・自立した社会人を目指し、主体的に行動したい人。
- ・音楽を通して社会貢献を志す人。

各コース・専門の求める学生像は以下の通りである。

■実技系：器楽コース／声楽コース／演奏家コース

[ピアノ]

ピアノの基礎的な演奏技術と様式観を持ち、自らの能力を伸ばしていく意志のある人。演奏家を目指す人。アンサンブル能力を高めたいと思っている人。ピアノ教育に興味を持っている人。

[弦楽器]

理想に向かって自らの楽器演奏を探究できる人。仲間と共に、音楽を作り上げることに喜びを持つ人。音の追求に妥協しない人。

[管・打楽器]

演奏技術の習得にとどまらず、感性豊かな演奏家・教育者を目指す人。演奏を通して社会に発信できる資質を養うことを目指す人。

[オルガン・古楽]

オルガン・古楽に深い関心を持ち、演奏という行為を喜び、常に自分を見つめて誇りと喜びをもってより良い音楽作りのために献身し、社会に貢献しようとする人。

[声楽]

声を探し育てていくという地道な鍛錬に耐えられる精神的・肉体的な強さを持っている人。声楽芸術に興味と探求心を持ち、さらに声楽芸術を通して社会に発信、貢献するという希望を持つ人。

■研究系：グローバル教養コース

[音楽学]

歴史、哲学、思想など演奏以外の視点の幅広い領域から音楽を探究したいと考える人。また、自分自身の音楽的な関心を、言葉を通して深めていくために必要な国語力や英語力を有している人。

[音楽教育]

多様な生徒を音楽的にも人間的にも成長させられる音楽教育者を目指す人。

[文化創造マネジメント]

音楽を通じて社会を豊かにし、音楽活動や演奏家と社会をつなぐ実践的な人材となりえることを目指す人。

入学者受入れ方針は以下の通りである。

[ピアノ]

課題に沿って事前に準備した複数曲を暗譜で演奏し、ピアノ演奏の基礎技術、作品に対する理解力、対位法音楽の演奏法、構成力、表現力、音に対する耳や感性等のほか、音楽に対する意欲と姿勢を総合的に判断する。

[弦楽器]

入試課題をこなし、本学での授業に対応できる基礎的な技術を兼ね備えている。表現力につなげられる、豊かな感性を持っている。和声感を有し、音程感覚に優れている。アンサンブルに適応できる協調性がある者。入学試験では、受験生の演奏に対し、以上の観点から、総合的に審査する。

[管・打楽器]

器楽コース：各楽器の入試課題の演奏から、その時点での表現力、演奏技術の到達度や資質、意欲等を総合的に審査する。(打楽器については、小太鼓かマリンバのどちらかで受験可能である。)

演奏家コース：より高度な入試課題の演奏から、表現力や作品の完成度、資質、意欲等を総合的に審査する。

[オルガン・古楽]

入試課題の演奏から、オルガンもしくは古楽器の演奏技術や表現力、資質、意欲等を総合的に審査する。

[声楽]

日本語、外国語(伊語など)による基本的な声楽曲を数曲、事前に学習し暗譜して実際に歌ってもらい、その時点での表現力、資質、意欲等を総合的に審査する。

[音楽学]

「音楽にかかわる領域を深く広く学ぶ意思があるか。基礎的な文献を読解し、語学能力を習得する意思があるか。自分の考えを適切な方法で表現する力を持っているか。」を考慮して審査する。

[音楽教育]

「人が好きか、教えることが好きか、音楽が好きかといった基本的な資質を大切にしたい上で、その能力を柔軟な感性をもって伸ばしたい意思があるか。教育的な活動において伸びていく可能性を思わせる基礎的な学力や精神力を持っているか。」を考慮して審査する。

[文化創造マネジメント]

「芸術文化活動に関して、積極的な興味を持っているか。創造的な活動に関して、伸びていく可能性を思わせる感性を持っているか。文章力・語学力あるいはパフォーマンスなどにおいてコミュニケーション能力や自己表現力を持っているか。」を考慮して審査する。

試験概要

募集人員	12名(全コース全専門) ※ 学内編入含む		
募集コース	器楽コース	ピアノ	
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス ギター、ハープ
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン チューバ、ユーフォニアム
		打楽器	
		オルガン・古楽	オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ リュート、リコーダー
	声楽コース	声楽	
	グローバル教養コース	音楽学専門	
		音楽教育専門	
		文化創造マネジメント専門	
	演奏家コース	ピアノ	
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス ギター、ハープ
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン チューバ、ユーフォニアム
		打楽器	
		オルガン・古楽	オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ リュート、リコーダー
		声楽	
出願資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学音楽学部または音楽学科の第2年次修了者(または平成30年3月修了見込みの者) 2. 短期大学音楽科卒業生(または平成30年3月修了見込みの者) 3. 本学における大学音楽学部音楽学科の第2年次修了者、または短期大学部音楽科卒業生と同等以上の学力があると認められた者 4. 器楽コース、声楽コース、演奏家コースについては、大学あるいは短期大学において、専攻楽器の実技単位を8単位以上取得していること。 <p>※専門学校を卒業(または平成30年3月修了見込みの者)し、本学の編入学を志望する場合は、出願期間前に成績証明書及び単位取得証明書(見込み含む)を提出(郵送可)してください。単位認定について受験前に面談を要する場合があります。</p>		
選考方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全コース共通の試験科目(ソルフェージュ・音楽理論・副科ピアノまたは副科器楽・面接)……………7ページ 2. 各コース・各専門の試験科目……………8～10ページ <p>上記1、2のほか「成績証明書」「単位取得証明書」を総合的に判断して選考する。</p>		
試験会場	本学校舎棟		
検定料	43,000円(単願) ※ 併願の場合 65,000円		

試験日程	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	平成30年2月4日(日)～平成30年2月6日(火)
	演奏家コース	平成30年2月6日(火)～平成30年2月9日(金)
試験時間表の 交付 ※交付場所： 本学入試センター	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	平成30年2月3日(土) 12:00～15:00 または平成30年2月4日(日) 受付時 ※受取り(代理可)の際は受験票をご提示ください。
	演奏家コース	平成30年2月5日(月) 12:00～15:00 または平成30年2月6日(火) 受付時 ※受取り(代理可)の際は受験票をご提示ください。
出願期間 提出方法	平成30年1月6日(土)～平成30年1月18日(木) 消印有効 検定料納付後、下記記載の出願書類を本学所定の出願用封筒(巻末)を使用し、簡易書留にて郵送してください。	
合格発表日	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	平成30年2月8日(木)
	演奏家コース	平成30年2月14日(水)
※合否結果については、上記発表日に本人宛に簡易書留で発送します。合格発表日より3日を経過しても合否結果が届かない場合は入試センターまでお問い合わせください。なお合否に関する電話等でのお問い合わせには一切応じられません。		
入学手続期間	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	平成30年2月9日(金)～平成30年3月5日(月)
	演奏家コース	平成30年2月15日(木)～平成30年3月5日(月)
※合否結果通知時に入学手続に関する書類をご案内します。なお上記手続期間内に4ページ記載の入学金と施設設備資金を納付していただきます。		
出願書類	1. 入学願書 2. 個人調書 3. 専門実技曲目記入票 ※志望コースにより書式が異なります。 4. 受験票 5. 出身大学学長または出身短期大学学長発行の「成績証明書」および「単位取得証明書(見込み含む)」	
取得できる資格等	①卒業した者には学士(芸術学)の学位が与えられます。 ②教職課程科目を履修し、所定の単位を取得した者には、中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)が与えられます。	
併願について	演奏家コース志願者は、演奏家コースと同一の専門に限り器楽コースあるいは声楽コースとの併願ができます。併願を希望する者は、入学願書の所定の欄にチェックすること。	

入学金・学納金等（平成29年度参考金額）平成30年度の金額は平成29年12月中旬に決定します。

入 学 金	200,000円
施設設備資金	400,000円
授 業 料	(年額) 1,345,000円 (演奏家コースは 1,545,000円)
一般維持費	(年額) 170,000円
諸 会 費	(年額) 26,300円 (後援会費 18,000円、学友会費 6,300円、恵声会入会基金 2,000円、ただし恵声会入会基金は本学短期大学部音楽科卒業者には課せられない)
学生諸費	(年額) 4,300円 (各種演奏会鑑賞代、レントゲン代、緊急連絡サービス加入代等) ※1

教職課程を履修希望する二種免許状（教科 音楽）取得者は、別途教職課程履修費30,000円（年額）が必要となります。新規取得希望者は60,000円（年額）となります。納付期日や納付方法については入学後のガイダンスにてお知らせいたします。

【注意】上記の入学金と施設設備資金以外の学納金は、平成30年4月15日（日）までに納付してください。また、半期ずつの二期分納が可能です。この場合残りの半額は平成30年10月15日（月）までに納付してください。

※1平成30年4月15日（日）までに一括で納付してください。鑑賞する演奏会の種類の増減、各費用の料金の改定等により、金額に変更が生じることがあります。

卒業年次に同窓会基金として16,000円を別途納付していただきます。

入学金および施設設備資金以外の費用に関し、在学期間中毎年スライド方式によって改訂されることがあります。スライド制の基準は、人事院勧告などの機関によって発表される数値を参考として決定します。

上記入学金・学納金等は、本学学生として必ず納付していただくものであり、いずれの項目も任意で納付を拒むことはできません。

入学辞退

入学を辞退される方は、入試センター（03-3842-1024 直通）へご連絡ください。

「入学辞退に関する書類」を郵送します。必要事項を記入し、平成30年3月23日（金）15時までに提出（郵送可、必着）してください。書類確認後、施設設備資金（400,000円）を返金します。ただし、出願書類と入学金（200,000円）は、事情の如何に関わらず返却・返金はいたしません。

特待生制度

対象コース	種 類	人 数	特待生内容
演奏家コース	特待生 S	原則 1名 以内	入学金・授業料・施設設備資金、年額免除
	特待生 A	原則 2名 以内	授業料年額の半額免除、一般維持費年額免除
	特待生 B	原則 3名 以内	授業料30万円免除
	特待生 C	評価の範囲内	入学金免除

※平成29年度実績

「演奏家コース特待生」は、演奏家コース学年末専門実技試験の結果を以って次年度の特待生を選出します。3年次は入学試験で、4年次は進級前年度末の選考試験で決定します。

演奏家コース特待生 S および C の場合、入学手続き時に一旦入学金を納付いただき、入学後に手続きを経て減免を実施します。

特待生 A の場合、後期分の授業料を減免します。

特待生 B の場合、後期分の授業料から 30 万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消となり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

・学業成績不良 ・素行不良 ・遅刻・欠席が多い ・休学または退学

学生寮

大学に在籍、または入学手続きを済ませた遠方出身者で、自宅からの通学が不可能と判断される者を対象とします。入学試験での専門実技試験の成績を参考に審査をします。学生寮管理担当者との面接を行う場合もあります。

日本学生支援機構の奨学金

奨学金の種類

①第一種奨学金(無利息)

②第二種奨学金(利息付)

※第一種奨学金と第二種奨学金の併用は、採用枠に限りがあります。

貸与月額

第一種奨学金では、学種別・設置者・入学年度・通学形態別に定められていますが、3万円を選択することもできます。

第二種奨学金では、自宅・自宅外にかかわらず5種類の月額から選択でき、希望により、採用された年度の4月に遡って借りることができます。貸与期間中に必要に応じて、貸与月額を変更することもできます。

平成29年度 入学者の貸与月額

	私 立	
	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金	54,000円	64,000円
	30,000円	
第二種奨学金	30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円のいずれか	

各種教育ローン

項 目	国の教育ローン	みずほ銀行教育ローン	オリコ学費サポートプラン
取扱機関	株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業	株式会社みずほ銀行	株式会社オリエンコーポレーション
申込者	(原則)保護者	保護者	保護者
対象	入学金・授業料等学納金など	入学金・授業料等学納金	入学金・授業料等学納金
年収要件	子どもの人数により要件が異なります。詳しくは取扱機関にお問い合わせください。(子どもの人数が1人の場合、世帯の年間収入が給与所得者790万円以内、事業所得者590万円以内)	前年度収入200万円以上で安定かつ継続した収入のある方	安定した収入のある方 ※年収・勤続年数の制限はございません
申込方法	店頭、郵送、インターネット	店頭、郵送、インターネット	Webもしくは郵送
返済方法	通常払(元均等払)／元金据置払い	通常払い／元金据置払い／親子リレー返済	通常払い／元金据置払い／親子リレー返済
保 証	(公財)教育資金融資保証基金 または連帯保証人	原則不要	原則不要
手続期間	20日程度	1週間～2週間	1週間 ※Web申込の場合審査は原則1日
借入金の振込	お客さまの口座へ振込	学校指定の口座へ振込	学校指定の口座へ立替
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認資料 住民票の写し(原本) 保護者様の源泉徴収票または確定申告書(控) 住宅ローン(または家賃)と公共料金のお支払いを確認できる預金通帳(最近6ヵ月以上) 〈在学費用の場合〉 <ul style="list-style-type: none"> 在学を確認できる書類 お使いみちを確認できる書類 	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認資料 収入証明書 納付通知書 ※支払済である場合は領収書など(支払後1ヵ月以内)	<ul style="list-style-type: none"> 学生証の写し 納付通知書の写し

※申込用紙・パンフレット等は、大学事務部に用意しています。各ローンの詳細は、パンフレット等に記載されている各社にお問い合わせください。

試験科目 詳細について

◆全コース共通の試験科目について（7 ページ参照）

以下の ① ② ③ ④ は、全コース共通の試験科目となります。

- ① ソルフェージュ*
- ② 音楽理論*
- ③ 副科ピアノまたは副科器楽*
- ④ 面接

※ 文化創造マネジメント専門は除く

◆各コース・各専門の試験科目について（8 ページ～ 10 ページ参照）

1. 専門実技に関しては試験官の指定した曲のみを演奏させることや、演奏を途中でカットする場合がある。楽譜の譜めくりは受験者自身で行うこと。
2. 専門実技曲目記入票に記入した演奏曲の楽譜を 1 部ずつ用意し、試験当日持参すること（出願書類と一緒に提出しないこと）。なお楽譜はコピーで構わない。
3. 適性を判断するために、口頭により 2 ～ 3 の諮問を行うことがある。

◆グローバル教養コース・文化創造マネジメント専門「個性表現」について

個性表現とは、自分自身が最も得意とする表現（身体表現、楽器演奏、過去の顕彰、活動実績など）のプレゼンテーションを言います。所要時間 5 分以内で実施してください。

《具体例》

楽器演奏、ダンスの披露等のパフォーマンス、映像作品の紹介、ボランティア活動の報告、特技に関わる証明書（各種検定資格等）を携えての自己PR、等。

《本学で用意できる機器類》

オーディオ機器、パソコン、プロジェクター、書画カメラ、スクリーン、大型楽器

※ 上記機器類の使用を希望される方、また、自身で手配される方はその旨、事前にご連絡ください（連絡先：上野学園大学入試センター 03-3842-1024）。

課題曲発表時期について

演奏家コースの課題曲（試験1か月前発表）については、本学ホームページにて平成29年12月に発表を予定しています。

課題曲問い合わせ先：入試センター（03-3842-1024 直通）

全コース共通の試験科目について

① ソルフェージュ、② 音楽理論、③ 副科ピアノ / 副科器楽、④ 面接は、全コース共通の試験科目となります。
また各コース・各専門の試験科目（専門実技等）については、8 ページより確認してください。

科目	志望コース	楽器	試験内容
① ソルフェージュ	全コース 文化創造マネジメント 専門の志願者は除く	—	聴音（12小節程度の単旋律聴音）。
② 音楽理論 (所要時間 60分)	全コース 文化創造マネジメント 専門の志願者は除く	—	和声（転調のないバス課題。長調と短調各1題ずつ）。
			楽式
③ 副科ピアノ ※副科ピアノは、演奏曲目を [<u>専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽 記入欄）</u>]に明記すること。	●器楽コース ピアノ ギター オルガン チェンバロ の志願者は除く ●声楽コース	ピアノ	・音階：＃、♭それぞれ1つから2つまでの調より、一組の平行調を当日指定する（Hanon No.39による）。カデンツも含む。 ・J.Haydn,W.A.Mozart,L.van Beethovenの任意のソナタ1曲の第1楽章または終楽章、あるいは同程度の楽曲。 【注意】・全て暗譜。繰り返しは省略。
③ 副科器楽 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハーブ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、打楽器[小太鼓またはマリмба]、オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、リコーダーのいずれかで受けることができる。 ※副科ピアノ / 副科器楽は、演奏曲目を[<u>専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽 記入欄）</u>]に明記すること。	●グローバル教養コース 文化創造マネジメント 専門の志願者は除く	ピアノ	・音階：＃、♭それぞれ1つから2つまでの調より、一組の平行調を当日指定する（Hanon No.39による）。カデンツも含む。 ・任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第1楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲。 【注意】・全て暗譜。繰り返しは省略。
		弦楽器 管楽器 打楽器	任意の1曲。
		オルガン	J.S.Bachより任意の1曲。
		チェンバロ	J.S.Bachより任意の1曲。
		ヴィオラ・ダ・ガンバ	D.Ortiz《Tratado de glosa》(Bärenreiter684)より《Recercada Segunda》。
		リュート	P.Attignant《Besse-danse” Patience”》(楽譜が必要な者は、返信用封筒 [92円切手貼付] 同封のうえ上野学園大学入試センター宛てに請求すること)。
		リコーダー	H.M.Linde《Neuzeitlicheübungsstücke für die Altblockflöte》(Schott4797)より第11、12番。
		③ 副科ピアノ ※副科ピアノは、演奏曲目を [<u>専門実技曲目記入票（副科ピアノ / 副科器楽 記入欄）</u>]に明記すること。	●演奏家コース ピアノ ギター オルガン チェンバロ の志願者は除く
④ 面接	全コース	—	

各コース・各専門の試験科目

各コース・各専門における試験科目については、それぞれ下表の [A]・[B]・[C] すべてを演奏すること（専門によっては [A] のみ、[A]・[B] などの場合あり）。

※ 楽譜の譜めくりは受験者自身で行うこと。

◆ [A] 器楽コース [B] 声楽コース [C] グローバル教養コース 試験科目

コース	専 門	試験科目
[A] 器楽コース ※演奏曲目を「専門実技曲目記入票 [1]」に明記すること。	(a) ピアノ専門	[A] J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集 Das Wohltemperierte Klavier》第1巻、第2巻より任意のフーガのみ1曲。 [B] 自由曲（ただし練習曲を除く）。 【注意】・全て暗譜で演奏すること。
	(b) 弦楽器専門 管楽器専門	[A] 任意の練習曲1曲。 [B] 任意の1曲（ただし練習曲を除く）。 【注意】・全て伴奏無し。
	(c) 打楽器専門	①小太鼓で受験する場合 [A] 1,2,5,9 打ちの各基本奏法を当日指定して小太鼓で行わせる。 [B] 任意の1曲（練習曲を含む）。 ②マリンバで受験する場合 [A] 音階（長音階、短音階、当日指定する）。 [B] 任意の1曲（練習曲を除く）。 【注意】・[B] は伴奏無し。①、②いずれで受験するか入学願書に明記すること。
	(d) オルガン専門	[A] J.S.Bach の任意の《前奏曲とフーガ》1曲。 [B] 試験当日簡単な通奏低音（Generalbass）を指定し、演奏させる。
	(e) チェンバロ専門	[A] W.Byrd, J.P.Sweelinck, G.Frescobaldi, L.Couperin の作品より任意の1～3曲（演奏時間 10 分程度） [B] J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集 Das Wohltemperierte Klavier》第1巻、第2巻より任意の《前奏曲とフーガ》1曲。ただし第1巻 No.2, No.10, No.11 を除く。 [C] 当日簡単な通奏低音（Generalbass）を指定し演奏させる。
	(f) ヴィオラ・ダ・ガンバ専門	[A] D.Ortiz《Tratado de glosas》(Bärenreiter684)より《Recercada Primera》(p.52) [B] M.Marais の任意の組曲の中から3曲。 【注意】・[B] は伴奏無し。
	(g) リュート専門	[A] J.Dowland 《Lachrimae Pavan》
	(h) リコーダー専門	[A] G.Ph.Teleman 《Der getreue Musikmeister》(Hortus musicus 6, Bärenreiter) より《ソナタ》ハ長調 第1楽章および第2楽章。 [B] G.F.Händel 《ソナタ》イ短調 Op.1 No.4 第1楽章および第4楽章。 【注意】・全て伴奏無し。
[B] 声楽コース ※演奏曲目を「専門実技曲目記入票 [2]」に明記すること。	声楽専門	[A] 任意のドイツ歌曲1曲。 [B] 自由曲1曲。 【注意】・[A] [B] とも、原語にて、暗譜で演奏すること。伴奏楽譜2部を入学願書に添えて提出すること。伴奏者は本学で手配する。
[C] グローバル教養コース	(a) 音楽学専門	[A] 音楽学英語：英和辞典1冊（電子辞書も可）の持ち込みを許可する（60分）。 [B] 音楽学小論文：音楽関係の題目を当日出題する（60分）。 [C] 音楽学面接
	(b) 音楽教育専門	[A] 音楽教育小論文：音楽教育関係の題目を当日出題する（60分）。 [B] 音楽教育面接
	(c) 文化創造 マネジメント専門	[A] 英語（60分）。 [B] 文化創造マネジメント小論文（60分）または個性表現〔詳細は6ページ参照〕。 [C] 文化創造マネジメント面接 【注意】・[B] の選択科目を入学願書に明記すること。

◆ [D] 演奏家コース 試験科目

各専門における試験科目については、下記の [A] または [B] のいずれかを選んで演奏すること。いずれの課題を選択するか「専門実技曲目記入票」にチェックすること。

演奏家コースには「特待生S」「特待生A」「特待生B」「特待生C」の設置があり、今回の入学試験と選考を兼ねる。

特待生選考を希望する者は、必ず [A] の課題で受験すること。

コース	専 門	試験科目
[D] 演奏家コース 右記の「[A]」「[B]」 のいずれかを選んで演奏すること。	(a) ピアノ専門	<p>[A] 下記の課題すべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験 1 か月前発表の課題曲 (6 ページ参照)。 ・J.S.Bach：フランス風序曲 BWV831 全曲。 ・F.Chopin：エチュード [Op.10 または Op.25] より 1 曲 (ただし Op.10-3、10-6、10-9、25-1、25-2、25-5、25-7 を除く)。 ・F.Liszt：[超絶技巧練習曲またはパガニーニ大練習曲]、ドビュッシー、ラフマニノフ、スクリャーピン、プロコフィエフ、バルトークのエチュードより 1 曲。 ・20～25 分の自由曲 (1 曲でも複数でも可)。 <p>[B] 下記の課題すべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験 1 か月前発表の課題曲 (6 ページ参照)。 ・J.S.Bach：4 つのデュエット BWV802～805 より第 1 曲 e-moll と第 2 曲 F-dur または、第 3 曲 G-dur と第 4 曲 a-moll ・F.Chopin：エチュード [Op.10、Op.25、3 つの新練習曲] より 1 曲。 ・F.Liszt：3 つの演奏会用練習曲、2 つの演奏会練習曲、またはドビュッシー、バルトークのエチュードより 1 曲。 <p>【注意】・暗譜で演奏すること。 ・繰り返しは原則として省くが、音楽的に必要と認められるものはこの限りではない。 ・なお専門実技曲目記入表の演奏時間欄には、実際の演奏時間を記載すること。</p>
	(b) 弦楽器専門	<p>[A] ・任意の協奏曲全楽章または、それに準ずる作品。 ・自由曲 1 曲 (無伴奏作品、ソナタ、小品他)。</p> <p>[B] ・任意の協奏曲 (緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ、または、それに準ずる作品。カデンツァがある場合はカデンツァを含む)。 ・自由曲 1 曲 (無伴奏作品、ソナタ、小品他)。</p> <p>【注意】・暗譜で演奏すること。</p>
	(c) 管打楽器専門	<p>[A] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (6 ページ参照)。 ・任意の協奏曲全楽章。 ・任意の室内楽曲作品 1 曲。</p> <p>[B] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (6 ページ参照)。 ・任意の協奏曲全楽章。 ・任意の室内楽曲作品から 1 つの楽章。</p> <p>【注意】・「任意の協奏曲」を選択するのが難しい場合には、「協奏曲に準ずる作品」から選ぶこと。 ・フルートについては伴奏者は本学で手配する。 ・伴奏者との打ち合わせの時間を別途もうける。</p>
	(d) ヴィオラ・ダ・ガンバ専門	<p>[A] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (10 分程度、6 ページ参照)。 ・30 分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽 (通奏低音付きの声部または器楽独奏曲の通奏低音の声部を演奏すること)。</p> <p>[B] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (5 分程度、6 ページ参照)。 ・15 分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽 (ヴィオラ・ダ・ガンバの独奏を含む室内楽作品を演奏すること)。</p>
	(e) オルガン専門 チェンバロ専門 リュート専門 リコーダー専門	<p>[A] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (10 分程度、6 ページ参照)。 ・30 分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽 (曲目は自由)。</p> <p>[B] ・試験 1 か月前発表の課題曲 (5 分程度、6 ページ参照)。 ・15 分程度のリサイタル・プログラム。 ・室内楽 (曲目は自由)。</p>
	(f) 声楽専門	<p>[A] ・30 分程度のリサイタル・プログラム (ドイツ歌曲を含む)。 [B] ・20 分程度のリサイタル・プログラム (ドイツ歌曲を含む)。</p> <p>【注意】・原語にて、暗譜で演奏すること。・伴奏者は本学で手配する。 ・伴奏譜 2 部を入学願書に添えて提出すること。 ・伴奏者との打ち合わせの時間を別途もうける。</p>

専門の変更を希望する者の受験について

入学後の専門は、原則として出願資格を満たす出身大学または短期大学に在籍していた際の専門 / 専攻と同一のものとします。ただし、下記の表に定める専門 / 専攻の変更については、受験を認めます。

なお専門 / 専攻を変更して器楽コースまたは演奏家コースを受験する場合は、変更前の楽器で「各コース・各専門別の試験科目（8ページ・9ページ）」に記されている当該楽器の試験科目を受けること。

※ 全コース共通の試験科目については7ページを参照のこと。

出身大学・短期大学 在籍中の専門 / 専攻	専門変更での受験を認めるコース（専門）
器楽 / 声楽	グローバル教養コース（音楽学専門）
	グローバル教養コース（音楽教育専門）
ピアノ	器楽コースまたは演奏家コース（オルガン専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（チェンバロ専門）
ヴァイオリン	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
チェロ	器楽コースまたは演奏家コース（コントラバス専門）
	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
コントラバス	器楽コースまたは演奏家コース（ヴィオラ・ダ・ガンバ専門）
金管楽器	器楽コースまたは演奏家コース（別の金管楽器専門）
オルガン	器楽コースまたは演奏家コース（チェンバロ専門）

第3年次編入 入 学 願 書

*は記入不要

※太枠線内を記入すること

受験番号	*
併願番号	*

写 真

1. 上半身脱帽
2. 最近3ヶ月以内撮影
3. 縦4cm×横3cmのもの
4. 写真の裏面に氏名を記入
5. 写真にのりづけの上貼り付け

選考種類	第3年次編入
------	--------

フリガナ				
氏 名				
生年月日	西暦 19 年 月 日 (満 歳)	性 別	1. 男 2. 女	
現住所	(郵便番号 -)	電話番号 (自宅)		
		電話番号 (携帯電話)		
学 歴	年	月	日	出身校名
				立 中学校 卒業
				立 高等学校 卒業
				立 短期大学 卒業見込 (卒業)
				立 大学第 年次 修了見込 (修了)
			立 大学 卒業見込 (卒業)	

○をつける

志 望 コ ー ス	1. 器楽コース	
	2. 声楽コース	
	3. グローバル教養コース	
	4. 演奏家コース	
専 門	1. ピアノ	
	2. 弦楽器	
	3. 管楽器	
	4. 打楽器	
	5. オルガン・古楽	
	6. 声楽	
	7. 音楽学	
	8. 音楽教育	
	9. 文化創造マネジメント	
志望する 楽 器		
現在の 専門楽器	※	

※本学入学後の専門と異なる場合のみ記入すること

○をつける

併 願	1. 器楽コース (演奏家コース志願者のみ)	
	2. 声楽コース (演奏家コース志願者のみ)	



文化創造マネジメント志願者は以下を選択すること ○をつける

文化創造マネジメント B) 選択科目	文化創造マネジメント小論文	
	個性表現	

上記で「個性表現」を選択した場合、下欄にその内容を記入すること
具体的に

※本学の機材・楽器を使用する場合、6ページを参照し、使用したい機材・楽器を記入すること

切り取り線

第3年次編入 個人調書

選考種類	第3年次編入
志望コース	1. 器楽コース 2. 声楽コース 3. グローバル教養コース 4. 演奏家コース
併願	1. 器楽コース 2. 声楽コース
専門	1. ピアノ 2. 弦楽器 3. 管楽器 4. 打楽器 5. オルガン・古楽 6. 声楽 7. 音楽学 8. 音楽教育 9. 文化創造マネジメント
現在の専門楽器	

※番号を○で囲む

※番号を○で囲む
(該当者のみ)

※番号を○で囲む

受験番号	*
併願番号	*

*は記入不要

※太枠線内を記入すること。

フリガナ氏名			
	生年月日	19 年 月 日生	(満 歳)
学歴	年 月	短期大学	卒業見込(卒業)
		大学 第__学年	修了見込(修了)
		大学	卒業見込(卒業)
本学志望理由			

師事内容

師事期間	師事者名	師事科目

コンクール入賞歴

時期	コンクール名	結果

主な既習楽曲 (今回の演奏曲目を除く。公開演奏したものには○印をつける。)

作曲者	曲 目	公開演奏

平成30年度 上野学園大学 音楽学部 音楽学科
第3年次編入 専門実技 曲目記入票

選考種類	第3年次編入
コース	1. 器楽コース 2. 声楽コース 3. グローバル教養コース
専門	1. ピアノ 2. 弦楽器 3. 管楽器 4. 打楽器 5. オルガン・古楽 6. 声楽 7. 音楽学 8. 音楽教育
志望する楽器	
現在の専門楽器	※

受験番号	*
------	---

※番号を○で囲む

*は記入不要

※番号を○で囲む

※本学入学後の専門と異なる場合のみ記入すること

器楽コース 専門実技 曲目記入票【1】

作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章・曲番等
	目	日本語		
作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章・曲番等
	目	日本語		
作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章・曲番等
	目	日本語		
作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章・曲番等
	目	日本語		

声楽コース 専門実技 曲目記入票【2】

ドイツ歌曲	作曲者名(原語)	曲	原語	調名
		目	日本語	
自由曲	作曲者名(原語)	曲	原語	調名
		目	日本語	

※「アリア」の場合は、調名を記入しなくてよい。

副科ピアノ / 副科器楽 曲目記入票

楽器名:	※ピアノ以外の場合のみ記入
------	---------------

作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章
	目	日本語		

（切り取り線）

※裏面もご記入ください。

平成30年度 上野学園大学 音楽学部 音楽学科 第3年次編入 専門実技 曲目記入票

選考種類	第3年次編入
コース	演奏家コース
専門	1. ピアノ 2. 弦楽器 3. 管楽器 4. 打楽器 5. オルガン・古楽
併願	器楽コースを併願(する ・ しない)
志望する楽器	
現在の専門楽器	※
選択課題	1. [A] 2. [B]

受験番号	*
併願番号	*

※いずれかを
○で囲む

*は記入不要

※いずれかを
○で囲む

※本学入学後の専門と異なる
場合のみ記入すること

※いずれかを
○で囲む

専門実技 曲目記入票

リサイタル・プログラム	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間	
	目	日本語			
課題曲	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間	
	目	日本語			
協奏曲	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
室内楽曲	作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号・楽章等	演奏時間
		目	日本語		
					演奏時間合計

※裏面にも記入してください。

(切り取り線)

受験 番号	*
併願 番号	*

*は記入不要

副科ピアノ

曲目記入票

作曲者名(原語)	曲 目	原語	作品番号	楽章
		日本語		

平成30年度 上野学園大学 音楽学部 音楽学科
第3年次編入 専門実技 曲目記入票

選考種類	第3年次編入
コース	演奏家コース
専門	声楽
併願	声楽コースを併願(する ・ しない)
声域	
選択課題	1. [A] 2. [B]

受験番号	*
併願番号	*

*は記入不要

※いずれかを
○で囲む

※いずれかを
○で囲む

専門実技 曲目記入票

※は記入不要

演奏 曲目	作曲者名(原語)	曲 目	原語	演奏時間	※
			日本語		
	作曲者名(原語)	曲 目	原語	演奏時間	※
			日本語		
	作曲者名(原語)	曲 目	原語	演奏時間	※
			日本語		
	作曲者名(原語)	曲 目	原語	演奏時間	※
			日本語		
	作曲者名(原語)	曲 目	原語	演奏時間	※
			日本語		
				演奏時間合計	

(切り取り線)

副科ピアノ

曲目記入票

作曲者名(原語)	曲	原語	作品番号	楽章
	目	日本語		

第3年次編入 入学試験 受験票

※太枠線内を記入すること 備考欄には何も書かないでください。

志願するコース・専門		備考
1. 器楽コース		試験日：平成 年 月 日() ※試験日が複数日にわたる場合は初日のみを記載します。
2. 声楽コース		
3. グローバル教養コース		
4. 演奏家コース		
1. ピアノ		受付時間： 時 分
2. 弦楽器		受付場所：1階 入試センター
3. 管楽器		(お知らせ)
4. 打楽器		
5. オルガン・古楽		
6. 声楽		
7. 音楽学		
8. 音楽教育		
9. 文化創造マネジメント		

専門楽器：
(グローバル教養コースの場合は専門を記入)

写真
出願時には写真を
貼り付け不要
受験票返送後、
入学願書に貼り付けたもの
と同じ写真を糊付けした上
試験当日持参してください。

※記入不要
受験番号 ※

フリガナ

氏名

注意
1. 本受験票に顔写真を貼り付けた上、試験当日必ず持参すること。
2. 入学手続きの際必要となるので、試験終了後も大切に保管すること。
3. 試験当日の持ち物は入試要項を参照すること。

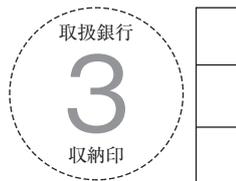


振込依頼書 (取扱店保存)

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱
振込先	みずほ銀行 稲荷町支店		
受取人	預金種目	普通	口座指定 965562
	打印刷語	ガッコウ ホウジン ウエノ ガクエン	
学校法人 上野学園			
志願者	氏名	カナ 漢字	
	住所	Tel.	

●下記の赤枠線内は併願の有無によって金額が異なります。当てはまる金額をご記入ください。
検定料 単願…43,000円 併願…65,000円

金額	¥					勘定項目	
現金						送信通番	手数料
当手							
他手							
内訳							



取扱銀行へのお願い ①、②、③票に取納印を押印のうえ、①②票を依頼者にお渡しください。

(銀行で切り離してください)

平成30年度(2018) 受験料 振込金受領書 (この受領書は志願者が保存する)

依頼日	平成 年 月 日	金額	¥	手数料	
振込先	みずほ銀行 稲荷町支店	上記のとおり振込金として受領しました。(取扱店)			
受取人	学校法人 上野学園	取扱銀行 2 取納印			
志願者氏名	殿				
_____銀行 _____支店					

(切り取り)

速達

郵便はがき

□□□ - □□□□

342円分の
郵便切手を
貼ってください

(切り取り)

(銀行で切り離してください)

●注意事項

一旦振り込まれた検定料は、原則として返還いたしません。
ただし検定料を多く払い過ぎてしまった場合のみ超過分を返還いたします。

様

※住所、氏名を記入してください。

(切り取り)

(切り取り)

(切り取り)

個人情報の取扱いについて

学校法人 上野学園（以下「本学」という）は、個人情報保護の重大な責務を深く認識し、その責務を果たすために、本学内において以下の個人情報保護方針の周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

1. 法律等の遵守について

本学は、個人情報を適正に管理することは、コンプライアンスの一環であると認識し、個人情報の保護に関する法律及びその他規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。

2. 個人情報の収集及び利用について

本学は、個人情報を収集させていただく場合は、利用目的を特定し、ご本人に明示もしくは通知・公表する方法で収集し、その利用目的の範囲内においてのみ利用し、それが漏洩しないよう努めます。

3. 個人情報の第三者への提供・開示について

本学は、法令の要請等によらない限り、ご本人の事前の同意なく個人情報を第三者に提供・開示することはありません。

4. 個人情報の管理体制について

本学は、収集した個人情報へのアクセス、個人情報の紛失、改竄、漏洩、毀損などを防止するために適切な管理に努め、その目的のため、「個人情報保護委員会」を設置し、個人情報の適切な管理に取り組みます。

5. 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等について

本学は、保有する個人情報について、ご本人からの開示、訂正、追加、削除、利用停止等の請求があった場合は、請求される方がご本人であることを確認させていただいた上で、適切に対応させていただきます。なお、ご本人から本学に対する問い合わせの窓口は、以下のとおりとします。

学校法人 上野学園 法人本部（03-3842-1021直通）

本学は、この方針を適宜見直し、個人情報保護への取り組みについて一層の改善に努めます。

【上野学園大学 周辺案内図】



【交通機関および所要時間】

JR山手線・京浜東北線・常磐線 ……「上野駅」より	徒歩 8分
東京メトロ銀座線・日比谷線 ……「上野駅」より	徒歩 8分
京成線 ……「京成上野駅」より	徒歩10分
つくばエクスプレス ……「浅草駅」より	徒歩10分

上野学園大学

音楽学部 音楽学科（演奏家コース／器楽コース／声楽コース／グローバル教養コース）
音楽専攻科

上野学園大学短期大学部 音楽科／専攻科音楽専攻 ※音楽療法士養成課程設置

上野学園高等学校音楽科（演奏家コース／器楽・声楽コース）

上野学園中学校アドヴァンスト・コース／プロGRESS・コース

資料請求・お問い合わせ：〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 TEL 03-3842-1024（入試センター）